

名松線廃止反対シリーズ 3

2009年10月29日、JR東海は「名松線の今後の輸送体制について」というお知らせの書面を配布しました。この書面の中で、「台風18号によって家城・伊勢奥津駅間は大きな被害を受け、調査したところ、仮に復旧しても今後も大きな災害が発生する恐れがある」として、同区間をバス輸送とするとしています。

名松線は、年間収入が4000万円に対し、経費が8億円（内、設備投資に3億円）かかる路線です。

今後の設備投資が大変であるから、家城・伊勢奥津駅間を廃止しようとしているのです。名松線は昭和10年に家城～伊勢奥津駅間が開通し全線開通して以来74年間、多くの人の努力により安全を確保し、地域の足を確保してきました。

今後も、安全確保をおこない地域の足と雇用を守るために、私たちは名松線の鉄道輸送存続を求めます。

名松線年表

- 1929年8月25日 松阪 - 権現前間 (7.08 km) が開業。
- 1930年3月30日 権現前 - 井関間 (8.53 km) が延伸開業。
- 1931年9月11日 井関 - 家城間 (10.2 km) が延伸開業。
- 1935年12月5日 家城 - 伊勢奥津間 (17.7 km) が延伸開業。
- 1959年9月26日 伊勢湾台風により伊勢竹原 - 伊勢奥津間が長期不通。
11月23日 全線復旧、運行再開。
- 1965年10月1日 貨物営業廃止。
- 1982年8月1日 台風10号により名松線全線が不通。国鉄はバス転換の方針を打ち出したが、反対運動などで復旧し翌年6月に全線の運行を再開
- 1984年2月1日 全駅で荷物の取扱いを廃止。
- 1987年4月1日 国鉄分割民営化によりJR東海が承継。
- 1989年2月20日 ワンマン運転開始。
- 2004年9月24日 台風21号による土砂災害で全線不通。10月4日復旧。
- 2009年10月8日 台風18号による豪雨で家城-伊勢奥津間の約40箇所土砂崩れや路盤流出が生じバス代行を開始
10月15日 松阪-家城間で運転再開。バス代行区間が家城-伊勢奥津間に変更

JR東海はリニアは推進するが、地方交通線は廃止方針！ 私たちは、地交線の切り捨てに反対です！